



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年1月29日

上場会社名 株式会社シーユーシー 上場取引所 東
コード番号 9158 URL http://www.cuc-jpn.com
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 濱口 慶太
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 橋本 淳 TEL 03 (5005) 0808
四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	23,368	△14.9	2,620	△17.2	2,431	△22.4	1,489	△30.2	1,500	△30.0	1,251	△21.3
2023年3月期第3四半期	27,445	6.9	3,166	△30.9	3,132	△30.8	2,132	△28.6	2,144	△28.1	1,589	△65.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	55.45	55.45
2023年3月期第3四半期	101.86	101.86

(注) 当社は、2023年4月13日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	58,034	26,309	26,066	44.9
2023年3月期	39,750	11,920	11,704	29.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,864	△9.5	3,444	△6.5	3,164	△12.9	2,023	△15.9	2,033	△16.1	75.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	29,990,400株	2023年3月期	22,630,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	675,048株	2023年3月期	675,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	27,049,775株	2023年3月期3Q	21,047,945株

(注) 当社は、2023年4月13日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しの等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(後発事象)	18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループのミッション（使命）は「医療という希望を創る。」です。このミッションに基づき、当社グループは、患者に向けては「患者視点の医療をひとりでも多くの方へ提供できる環境を創る。」、医療機関に向けては「地域に求められ、働きがいのある職場環境を創る。」、そして社会に向けては「医療課題の解決によって健全で持続可能な社会を創る。」ことを目指して様々なサービスを展開しています。

なお、従来、報告セグメントについては、「医療機関支援」及び「訪問看護」の2区分としていましたが、当第1四半期連結累計期間より「医療機関支援」、「ホスピス」及び「居宅訪問看護」の3区分に変更しています。

医療機関支援セグメントでは、病院、訪問診療クリニック、透析クリニック、眼科クリニック、小児科クリニック等を運営する医療機関に対して経営支援サービス（経営戦略策定・経営管理支援、マーケティング支援、IT・経理・総務等支援、人事・採用機能支援等）に加えて、M&A・PMI支援、新規クリニック開設支援、病床転換支援等のプロジェクト受注）を提供しています。

ホスピスセグメントでは、ホスピス型住宅の入居者に提供するサービスの質を最重要視した上で、既存のホスピス型住宅の入居者増加に加え、看取り機能が脆弱な地域を中心にホスピス型住宅の新規展開を加速し、より多くの医療依存度の高い（がん末期、神経難病等を患う）入居者向けに訪問看護及び訪問介護を提供しています。

居宅訪問看護セグメントでは、利用者に提供するサービスの質を最重要視した上で、既存の訪問看護ステーションの利用者拡大に加え、新規エリアへの訪問看護ステーションの新規開設を行い、居宅の利用者向けに訪問看護を提供しています。

今後も医療機関支援セグメントの顧客である支援先医療機関と、当社グループのホスピスセグメント及び居宅訪問看護セグメントが連携することにより、各支援先医療機関の病院やクリニック等並びにホスピス型住宅及び訪問看護ステーションが位置する地域の地域包括ケアシステムが効率的に運営されるプラットフォームが構築されるよう事業を行ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。また、当第1四半期連結累計期間からのセグメント変更に伴い、前年同期の数値を新たな報告セグメントに組み替えて表示しています。セグメント変更の詳細は、「(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項」における「報告セグメントの変更に関する情報」を参照ください。

なお、EBITDAの計算式は次のとおりです。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費及び償却費} \pm \text{その他の収益} \cdot \text{費用}$$

(当第3四半期連結累計期間の業績)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	比較増減	
			△増	△%
売上収益	27,445	23,368	△4,078	△14.9%
営業利益	3,166	2,620	△546	△17.2%
税引前四半期利益	3,132	2,431	△700	△22.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	2,144	1,500	△644	△30.0%
EBITDA	4,025	3,834	△191	△4.7%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

	セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	比較増減	
医療機関支援	セグメント売上 収益	13,587	7,991	△5,597	△41.2%
	セグメント利益	2,404	2,843	+438	+18.2%
	EBITDA	2,724	3,451	+728	+26.7%
ホスピス	セグメント売上 収益	4,612	7,453	+2,841	+61.6%
	セグメント利益	253	142	△111	△44.0%
	EBITDA	444	399	△46	△10.3%
居宅訪問看護	セグメント売上 収益	9,277	8,254	△1,024	△11.0%
	セグメント利益	1,096	497	△599	△54.6%
	EBITDA	1,436	845	△590	△41.1%
その他	セグメント売上 収益	147	148	+1	+0.4%
	セグメント利益	18	13	△5	△26.0%
	EBITDA	25	13	△12	△47.1%
調整額	セグメント売上 収益	△178	△477	△299	-
	セグメント利益	△604	△874	△270	-
合計	セグメント売上 収益	27,445	23,368	△4,078	△14.9%
	セグメント利益	3,166	2,620	△546	△17.2%
	EBITDA	4,025	3,834	△191	△4.7%

(既存サービスと新規サービスのセグメント売上収益)

前々連結会計年度に開始した医療機関支援セグメントにおける新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援サービス並びに居宅訪問看護セグメントにおける在宅治験及び健康観察支援サービスを新規サービスとして定義し、新規サービス以外のサービスを既存サービスとして定義しています。当該新規サービスは当第3四半期連結累計期間に大幅に縮小しましたが、前第3四半期連結累計期間との比較を行うため、以下では既存サービスと新規サービスに分けて記載しています。

(単位：百万円)

既存・新規	セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	比較増減	
既存サービス	医療機関支援	6,080	7,884	+1,804	+29.7%
	ホスピス	4,612	7,453	+2,841	+61.6%
	居宅訪問看護	7,075	7,861	+786	+11.1%
	その他	147	148	+1	+0.4%
	調整額	△178	△477	△299	-
	合計	17,736	22,869	+5,133	+28.9%

新規サービス	医療機関支援	7,507	106	△7,401	△98.6%
	ホスピス	-	-	-	-
	居宅訪問看護	2,202	393	△1,809	△82.2%
	合計	9,709	499	△9,210	△94.9%
合計		27,445	23,368	△4,078	△14.9%

① 医療機関支援セグメント

当セグメントにおいては、当第3四半期連結累計期間の支援先主要拠点数（注1）は108（前年同期比18拠点増）となり、支援先主要拠点当たり年間売上収益（注2）が98百万円（前年同期比7百万円増）となったことにより、既存サービスによる売上収益は7,884百万円（前年同期比29.7%増）となりました。一方、前々連結会計年度より開始した新規サービスである新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援サービスが大幅に縮小したため、当セグメント全体の売上収益は7,991百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

当セグメント全体の営業損益及びEBITDAについては、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種支援サービスに係る利益が減少した一方、既存サービスに係る利益の増加により、営業利益は2,843百万円（前年同期比18.2%増）及びEBITDAは3,451百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

- (注) 1. 当社が経営支援を提供する病院、介護老人保健施設、訪問診療クリニック、透析クリニック、外来クリニックの数（期中平均）。
2. 既存サービスによる売上収益を年額換算し、支援先主要拠点数（期中平均）で除して算出。

② ホスピスセグメント

当セグメントにおいては、2023年1月における株式会社ネイチャー、株式会社A&N及び株式会社ゆうの連結子会社化に伴う施設数の増加（5箇所）及び2023年1月から当第3四半期連結会計期間末までの期間における新規開設（8箇所）等により、当セグメントの売上収益は7,453百万円（前年同期比61.6%増）となりました。

当セグメントの営業損益及びEBITDAについては、本社機能の強化に伴う人員数増加及び当第3四半期連結累計期間における6箇所の新規開設（前年同期は2箇所の新規開設）等による費用の増加により、営業利益は142百万円（前年同期比44.0%減）及びEBITDAは399百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

③ 居宅訪問看護セグメント

当セグメントにおける利用者数と利用者あたりケア時間の増加に伴い、当第3四半期連結累計期間ののべ総ケア時間（注）は794千時間（前年同期比88千時間増）となり、当セグメントの既存サービスによる売上収益は7,861百万円（前年同期比11.1%増）となりました。一方、前々連結会計年度より開始した新規サービスである在宅治験及び健康観察支援サービスが大幅に縮小したため、当セグメント全体の売上収益は8,254百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

当セグメント全体の営業損益及びEBITDAについては、看護師及びセラピストの稼働率向上により既存サービスに係る利益が増加した一方、在宅治験及び健康観察支援サービスに係る利益の減少により、営業利益は497百万円（前年同期比54.6%減）及びEBITDAは845百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

- (注) 当セグメントの看護師及びセラピストが利用者に居宅訪問看護サービスを提供した時間の合計。セラピストは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の総称。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上収益は23,368百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益は2,620百万円（前年同期比17.2%減）、EBITDAは3,834百万円（前年同期比4.7%減）、税引前四半期利益は2,431百万円（前年同期比22.4%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,500百万円（前年同期比30.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び資本の状況)

資産合計は、前連結会計年度末比18,284百万円増の58,034百万円となりました。流動資産については、前連結会計年度末比13,693百万円増の26,425百万円となりました。これは主に東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行等により、現金及び現金同等物が13,412百万円増加したことによるものです。非流動資産については、前連結会計年度末比4,592百万円増の31,609百万円となりました。これは主にホスピス型住宅の増加に伴い有形固定資産が3,822百万円増加、使用権資産が1,138百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末比3,896百万円増の31,726百万円となりました。これは主に、既存借入金のリファイナンス（借換え）により、流動負債の借入金は14,040百万円減少となりましたが、一方で非流動負債の借入金は16,930百万円増加したこと及び使用権資産の増加に伴いリース負債が1,069百万円増加したことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末比14,389百万円増の26,309百万円となりました。これは主に東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行等により、資本金が6,606百万円増加、資本剰余金が6,503百万円増加し、また親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により利益剰余金が1,500百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年6月21日の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありませんが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を修正する必要が生じた場合には、速やかに開示します。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	4,120	17,532
営業債権及びその他の債権	8,240	8,484
棚卸資産	44	33
その他の金融資産	77	75
その他の流動資産	251	302
流動資産合計	12,732	26,425
非流動資産		
有形固定資産	7,350	11,173
使用権資産	4,712	5,850
のれん	4,723	4,785
無形資産	2,775	2,649
投資不動産	4,366	4,352
繰延税金資産	218	253
その他の金融資産	2,838	2,505
その他の非流動資産	35	42
非流動資産合計	27,018	31,609
資産合計	39,750	58,034

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,155	1,953
借入金	16,040	2,000
リース負債	889	981
預り金	432	422
未払法人所得税	389	321
契約負債	4	5
その他の金融負債	445	528
その他の流動負債	935	1,020
流動負債合計	21,290	7,229
非流動負債		
借入金	-	16,930
リース負債	4,523	5,499
退職給付に係る負債	188	229
繰延税金負債	1,396	1,276
その他の金融負債	78	77
その他の非流動負債	356	484
非流動負債合計	6,540	24,496
負債合計	27,830	31,726
資本		
資本金	1,063	7,669
資本剰余金	1,258	7,761
利益剰余金	7,715	9,215
自己株式	-	△0
その他の資本の構成要素	1,669	1,421
親会社の所有者に帰属する持分合計	11,704	26,066
非支配持分	216	242
資本合計	11,920	26,309
負債及び資本合計	39,750	58,034

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	27,445	23,368
売上原価	17,034	12,100
売上総利益	10,411	11,267
販売費及び一般管理費	7,246	8,663
その他の収益	45	47
その他の費用	44	31
営業利益	3,166	2,620
金融収益	34	24
金融費用	69	213
税引前四半期利益	3,132	2,431
法人所得税費用	1,000	943
四半期利益	2,132	1,489
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,144	1,500
非支配持分	△12	△11
四半期利益	2,132	1,489
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	101.86	55.45
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	101.86	55.45

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	8,751	8,021
売上原価	5,456	4,143
売上総利益	3,295	3,878
販売費及び一般管理費	2,433	3,063
その他の収益	9	27
その他の費用	9	0
営業利益	863	842
金融収益	16	7
金融費用	22	98
税引前四半期利益	857	751
法人所得税費用	226	292
四半期利益	630	459
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	634	461
非支配持分	△3	△2
四半期利益	630	459
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	29.60	15.73
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	29.60	15.73

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	2,132	1,489
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	△645	△308
純損益に振り替えられることのない項目合計	△645	△308
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	101	70
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	101	70
税引後その他の包括利益	△543	△238
四半期包括利益	1,589	1,251
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,591	1,224
非支配持分	△2	27
四半期包括利益	1,589	1,251

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	630	459
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	△426	△75
純損益に振り替えられることのない項目合計	△426	△75
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△179	△124
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△179	△124
税引後その他の包括利益	△605	△199
四半期包括利益	25	260
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	46	275
非支配持分	△21	△15
四半期包括利益	25	260

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体の換算差額	新株予約権
2022年4月1日残高	1,049	1,025	5,290	-	358	-
四半期利益	-	-	2,144	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	92	-
四半期包括利益合計	-	-	2,144	-	92	-
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-
新株の発行	-	-	-	-	-	-
新株予約権の発行	-	-	-	-	-	24
株式に基づく報酬取引	14	234	-	-	-	6
所有者との取引額合計	14	234	-	-	-	31
2022年12月31日残高	1,063	1,258	7,434	-	450	31

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	合計	合計		
2022年4月1日残高	1,736	2,094	9,457	222	9,679	
四半期利益	-	-	2,144	△12	2,132	
その他の包括利益	△645	△553	△553	10	△543	
四半期包括利益合計	△645	△553	1,591	△2	1,589	
自己株式の取得	-	-	-	-	-	
新株の発行	-	-	-	-	-	
新株予約権の発行	-	24	24	-	24	
株式に基づく報酬取引	-	6	254	-	254	
所有者との取引額合計	-	31	278	-	278	
2022年12月31日残高	1,091	1,571	11,326	219	11,545	

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	新株予約権
2023年4月1日残高	1,063	1,258	7,715	-	479	34
四半期利益	-	-	1,500	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	32	-
四半期包括利益合計	-	-	1,500	-	32	-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	-
新株の発行	6,606	6,503	-	-	-	-
新株予約権の発行	-	-	-	-	-	4
株式に基づく報酬取引	-	-	-	-	-	25
所有者との取引額合計	6,606	6,503	-	△0	-	29
2023年12月31日残高	7,669	7,761	9,215	△0	511	63

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本の構成要素			非支配持分	資本合計
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	合計		
2023年4月1日残高	1,155	1,669	11,704	216	11,920
四半期利益	-	-	1,500	△11	1,489
その他の包括利益	△308	△276	△276	38	△238
四半期包括利益合計	△308	△276	1,224	27	1,251
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0
新株の発行	-	-	13,109	-	13,109
新株予約権の発行	-	4	4	-	4
株式に基づく報酬取引	-	25	25	-	25
所有者との取引額合計	-	29	13,138	-	13,138
2023年12月31日残高	847	1,421	26,066	242	26,309

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「医療機関支援」、「ホスピス」及び「居宅訪問看護」の3つを報告セグメントとしています。

「医療機関支援」は、経営戦略支援、経営管理支援、人事労務支援等を主な支援メニューとした医療機関に対する各種運営サポートを行っています。「ホスピス」は、ホスピス型住宅の入居者に訪問看護及び訪問介護サービスを提供、「居宅訪問看護」は、居宅の利用者に訪問看護サービスを提供しています。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目は以下のとおりです。

なお、報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいています。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表
	医療機関 支援	ホスピス	居宅訪問 看護	計				
売上収益								
外部収益	13,409	4,612	9,277	27,298	147	27,445	-	27,445
セグメント間収益	178	-	-	178	-	178	△178	-
合計	13,587	4,612	9,277	27,476	147	27,623	△178	27,445
セグメント利益(注) 3	2,404	253	1,096	3,753	18	3,771	△604	3,166
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	34
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	69
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	3,132
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	2,132
その他の項目								
減価償却費及び償却費	306	193	350	849	11	860	-	860

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局サービス、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△604百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表
	医療機関 支援	ホスピス	居宅訪問 看護	計				
売上収益								
外部収益	7,514	7,453	8,254	23,220	148	23,368	-	23,368
セグメント間収益	477	0	-	477	-	477	△477	-
合計	7,991	7,453	8,254	23,697	148	23,845	△477	23,368
セグメント利益(注) 3	2,843	142	497	3,482	13	3,495	△874	2,620
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	24
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	213
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	2,431
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	1,489
その他の項目								
減価償却費及び償却費	593	274	356	1,222	7	1,230	-	1,230

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局サービス、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△874百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

前第3四半期連結会計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表
	医療機関 支援	ホスピス	居宅訪問 看護	計				
売上収益								
外部収益	4,248	1,615	2,840	8,703	48	8,751	-	8,751
セグメント間収益	70	-	-	70	-	70	△70	-
合計	4,318	1,615	2,840	8,773	48	8,821	△70	8,751
セグメント利益(注) 3	749	57	264	1,070	10	1,080	△218	863
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	16
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	22
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	857
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	630
その他の項目								
減価償却費及び償却費	136	64	115	315	3	318	-	318

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局サービス、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△218百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結会計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表
	医療機関 支援	ホスピス	居宅訪問 看護	計				
売上収益								
外部収益	2,493	2,747	2,731	7,972	50	8,021	-	8,021
セグメント間収益	187	0	-	188	-	188	△188	-
合計	2,680	2,748	2,731	8,159	50	8,209	△188	8,021
セグメント利益(注) 3	815	205	111	1,131	9	1,140	△298	842
金融収益	-	-	-	-	-	-	-	7
金融費用	-	-	-	-	-	-	-	98
税引前四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	751
四半期利益	-	-	-	-	-	-	-	459
その他の項目								
減価償却費及び償却費	212	92	121	425	2	428	-	428

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局サービス、眼科材料及び眼鏡用品の販売サービス等を含んでいます。

2. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△298百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(3) 報告セグメントの変更に関する情報

当社グループは、前連結会計年度までホスピス事業セグメントと居宅訪問看護事業セグメントを、提供するサービス及び長期平均利益率等の経済的特徴の類似性を考慮し、訪問看護報告セグメントとして集約していました。当第1四半期連結累計期間に、当社グループは上場することにより資金調達を行い、調達した資金はホスピス型住宅の建設に充当する予定です。従来に比べて高い利益率を見込める大規模なホスピス型住宅の開設が今後加速することで、ホスピス事業の長期平均利益率等の経済的特徴が居宅訪問看護事業と乖離する見込みとなりました。

そのため、当第1四半期連結累計期間より、「医療機関支援」及び「訪問看護」の2報告セグメントから、「医療機関支援」、「ホスピス」及び「居宅訪問看護」の3報告セグメントに変更しています。なお、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

（後発事象）

（持分取得による子会社化）

当社は、2023年12月22日開催の取締役会において、当社の完全子会社であるCUC America Inc.（以下「CUC America」）を通じて、米国において足病クリニック経営のプラットフォームを有し、「Beyond Podiatry」を運営するAlbaron Podiatry Holdings, LLC（以下「Albaron Podiatry」）の79.35%の持分を取得し、連結子会社とすることを決議し、2024年1月6日（日本標準時）付で持分を取得しました。

(1) 持分取得の目的

当社は、「医療という希望を創る。」をミッションとして掲げ、2019年より東南アジア地域を中心に海外事業の展開を開始し、2023年7月に米国における市場調査や事業開発を行う拠点とすることを目的としてCUC America Inc.を設立しました。

米国も日本と同様に、高齢化、糖尿病等の患者数が増加しており、当社はそれらの生活習慣病疾患に関連した医療ニーズの高まりが見込まれる足病（Podiatry）業界への参入を決定しました。

この度、当社が持分を取得するAlbaron Podiatry Holdingsは、米国において足病クリニック経営のプラットフォームを有し、「Beyond Podiatry」を運営しており、2018年の設立以来、買収並びに既存クリニックの拡大及び新規出店により、運営クリニック拠点数および医師数を拡大し、近時は下肢静脈瘤の治療にも取り組んでいます。

現在、Beyond Podiatryは、足病医・静脈瘤の専門医計50名以上を抱え、ミシガン州、イリノイ州、オハイオ州、ケンタッキー州、インディアナ州を中心に複数のブランドのもとで足病クリニックを計30拠点以上運営しており、米国中西部においては拠点数及び足病医数ともに最大級の足病クリニックネットワークです。同社は、足病医に患者と医療に集中できる環境を提供することにより、高品質な患者経験価値を提供しています。

本件実行により、当社の強みである医療機関に対する経営支援サービスのノウハウを活用しながら、足病クリニックネットワークを支えるクリニックプラットフォームの機能を深化・拡大していきます。

(2) 対象会社の概要

商号 : Albaron Podiatry Holdings, LLC
 本店の所在地 : 142 W 57th St, Floor 11, New York, New York 10019
 代表者の氏名 : John Moroney, President
 出資の額 : 14,243千米ドル（2023年12月末時点）
 事業の内容 : 足病及び静脈瘤クリニックの運営事業
 結合後企業の名称 : CUC Podiatry Holdings, LLC
 取得企業が被取得企業の支配を獲得した方法 : 現金を対価とする持分の取得

(3) 取得持分数、取得価額及び取得前後の所有持分の状況

(1) 異動前の所有持分数	0個 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0.0%)
(2) 取得持分数	9,764,918個 (議決権の数: 9,764,918個)
(3) 取得価額	Albaron Podiatryの持分 69.1百万米ドル 付随費用等 (概算額) 1.3百万米ドル
(4) 異動後の所有持分数	9,764,918個 (議決権の数: 9,764,918個) (議決権所有割合: 79.35%)

(注) 持分譲渡契約書に基づき実施される価格調整により、最終的な取得価額は変動する予定です。

(4) 企業結合日における資産・負債の公正価値及びのれん

取得した資産および引き受けた負債について、取得日の公正価値を算定中のため、現時点では確定していません。